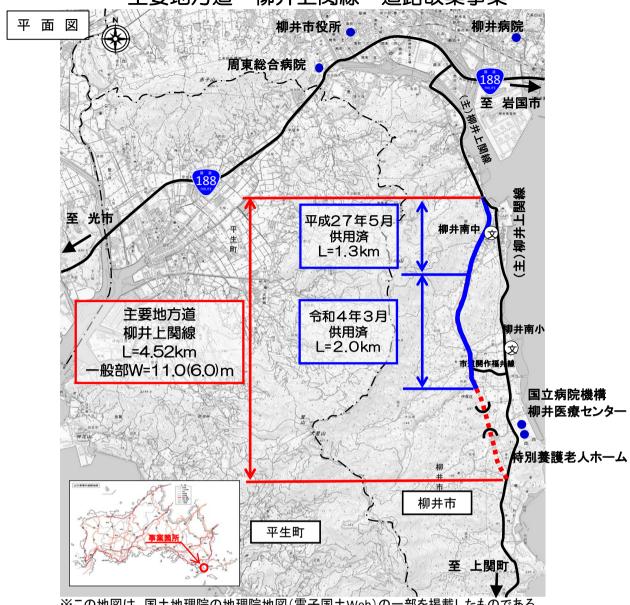
再評価項目調書

	再記	平価実施要件	○ 事業採択後(年) ● 再評価後 5年) ○ その他()								
		事 業 名	主要地方道柳井上関線 道路改築事業								
		事 業 場 所	柳井市伊保住								
		事 業 主 体	山口県								
		事業期間	《前回評価 令和 2 年 時 》 平成 13 年度 ~ 令和 12 年度 《令和 8 年度》 (西暦 2001 年度 ~ 西暦 2030 年度 《西暦 2026 年度》)								
		総事業費(内用地補償費)	《 6,242 百万円》 既投資額 4,799 百万円 進捗率 55 % (789 百万円) (内用地補償費) (784 百万円) (用地補償費) (99 %)								
1 事業概要		事 業 目 的	主要地方道柳井上関線は、柳井市の国道188号接続を起点とし、室津半島を縦断し、関町へ至る幹線道路であるとともに、第2次緊急輸送道路に指定され、二次救急医療機関ある周東総合病院へのアクセス道路となる重要な道路である。しかしながら、当該区間は、道路幅員が狭く大型車のすれ違いが困難であり、急なカーで見通しが悪い箇所があるうえ、通学路であるにもかかわらず、歩道が無い箇所があるなど、安全で円滑な交通に支障をきたしている。このため、当該区間のバイパス整備を行うことにより、安全で円滑な交通を確保するともに、柳井市街地と室津半島地域との連絡を強化し、地域住民の利便性の向上や安心・努の確保、半島地域の活性化を図るものである。								
		事 業 内 容	〇延長 L=4.52km(バイパス整備) 〇幅員 全幅11.0m (車道3.0×2=6.0m、自転車歩行者道3.5m(片側)) 〇道路区分 第3種第3級 〇計画交通量 8,000台/日								
		事 業 効 果	 ○柳井市街地と上関町との移動時間が短縮されるとともに、定時性や安定した走行が確保れることから、以下の効果がある。 ・柳井市役所〜上関町役場 約29分→約28分 ・二次救急医療機関(周東総合病院)や国立病院機構柳井医療センターへの搬送時間短続や安静搬送により、救命率の向上に寄与する。 ○地域間の交流が促進される。 ○線形不良箇所等の解消により円滑な交通が確保される。 ○自転車歩行者道の整備により、歩行者や自転車利用者の通行の安全を確保できる。 ○災害時にも機能する信頼性の高い緊急輸送道路を整備することができる。 								
2再評価の視点	(1)社会経済情勢の変化	社会経済情勢 の変化に伴う 必要性の変化	当該路線とあわせ室津半島から二次救急医療機関である周東総合病院へのアクセス道路となる国道188号柳井・平生バイパスが、令和2年に新規事業化された。また、当該路線は、第2次緊急輸送道路に指定されているうえ、室津半島の観光地へのアクセスルートになっており、当該路線の整備の必要性は依然として高い。								
		関係市町及び 地 元 の 意 向	当該道路は、柳井市の「柳井市都市計画マスタープラン(令和5年11月)」に、整備を促進する道路として位置付けられており、毎年、地元自治体である柳井市や柳井商工会議所、山口県東部高速交通体系整備促進協議会から早期整備の要望がある。 地元住民は概ね事業に協力的であり、事業の推進にあたっても協力体制が整っている。								

								(24)	: 百万円)		
			0			前回	今 回(再		· 8/19/19/	1	土西口
				区分	主な項目	(基準年:R2)	(基準年	: R7)	備考		大項目 評 価
						全体事業	全体事業	残事業			市 Ш
				1	走行時間短縮便益	10,352	13,204	3,628			
					走行経費減少便益	877	1,404	192			
		費用対効果 分析等		(B)	3交通事項減少便益	57	97	2			
	(2)事業の投資効			(4	4 その他の便益						
					総便益	11,286	14,705	3,822			
					①事業費	6,968	10,806	3,219			
				700	2維持管理費	103	126	32			
				(0)	3その他 総費用	7,071	10,932	3,251			А
				费田価2	施東用 益比(B/C)	1,071	1.3	1,2			
			ļ .						T. + 0 51 6T]	B
						は、昇出しに合本	次の値を割引率を用	300 に現任価値に換算	ひに合計額	Į.	Ċ
	果		【費用対効果	分析:	手法】						
			→	т.		+/\+c=-	7.11 · (1.14	20.0\ #\##	50		
			前回評価:「費用便益分析マニュアル」(H30.2)基準年:R2								
			◆同瓢	平成22年度道路交通センサスベース 平成42年将来交通量 今回評価:「費用便益分析マニュアル」(R7.8)基準年:R7							
			フロ래				エアル」(ローロンサスベー			六泽昌	
				-	平以乙十	反坦焰义进	!ピノリスハー		4.47不	义迅里	
			L								
2			Ì								
再							:	.			大項目
評			事業区	間4.	.5kmのう	ち、起点側	3.3km⊠	記ついては、	令和4	4年3月までに	評価
価			部分供用	した	ことにより	O、安全でF	円滑な交通を	確保した。			
の			部分供用したことにより、安全で円滑な交通を確保した。 残る区間については、用地補償が概ね完了しており、今後計画的な事業進捗が (4)								
視			見込まれることから、引き続きバイパス整備を進める。								
点	$\overline{}$		ċ								
	3										
			【事業費の変化】 (有) 無								
	事	事業の進捗と	【尹未見い久口】 (日) 流								
	業	今後の見通し	• 物価 🕒	「上昇等に伴い、労務費、建設資材費が増となったことから、事業費を変更する。							
	の		・物価上昇等に伴い、労務質、建設質材質が増となったことがら、事業質を変更する。 ・トンネル部の地質調査の結果により、支保構造の変更やトンネル上部の土砂崩落対策が必要になったことから、事業費を変更する。 ・法面部の地質調査の結果により、法面対策工が必要となったことから、事業費を変更する。								
	進										
	捗										
											支丈9
			【事業期間の変化】 (有) 無								
			・用地補償の遅延に加えて、トンネル工事の増工により、事業期間を延伸する。								文文 9
					\cup		.				文文 9
					\cup		ネル工事の増				文文 9
					\cup		ネル工事の増				支丈 9
	<u> </u>				\cup		ネル工事の増			を延伸する。	
	<u></u>		用地補切土工	償の ・盛) 遅延に加え 土工の施コ	えて、トン ² 	ネル工事の増	工により、事	業期間	を延伸する。	
	(4代) 替	コスト縮減	用地補切土工	償の ・盛	遅延に加え	えて、トン ² 		工により、事	業期間	を延伸する。 共事 中項目	大項目
	(4)コラ	コスト縮減	用地補切土工	償の ・盛) 遅延に加え 土工の施コ	えて、トン ² 		工により、事	業期間	を延伸する。	大項目
) 甘 ス 実 ス 生	コスト縮減	用地補切土工	償の ・盛) 遅延に加え 土工の施コ	えて、トン ² 		工により、事	業期間	を延伸する。 共事 中項目 (a) b	大項目が評価
	替案等の		・用地補 切土工 業との土	償の ・盛: 砂流	運延に加え ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	えて、トン ² 上にあたっ ² E図る。	ては発生土の	工により、事	事業期間 一	を延伸する。 共事 中項目 評 個 の b	大項目が評価
)コスト縮替案等の可	コスト縮減 代替案	用地補切土工業との土利便性	償の ・盛: 砂流 、経	 遅延に加え 土工の施コ 用の調整を 済性、施コ	えて、トンネ ににあたっ ⁻ E図る。 L性を総合的	ては発生土の	工により、事 現場内利用や 最適なルート	事業期間 一	を延伸する。 共事 中項目 (a) b 中項目 中項目	大項目が一個
)コスト縮減替案等の可能		用地補切土工業との土利便性	償の ・盛: 砂流 、経	 遅延に加え 土工の施コ 用の調整を 済性、施コ	えて、トンネ ににあたっ ⁻ E図る。 L性を総合的	ては発生土の	工により、事 現場内利用や 最適なルート	事業期間 一	を延伸する。 共事 中項目 評 個 の b	大項目が一個
)コスト縮替案等の可		用地補切土工業との土利便性	償の ・盛: 砂流 、経	 遅延に加え 土工の施コ 用の調整を 済性、施コ	えて、トンネ ににあたっ ⁻ E図る。 L性を総合的	ては発生土の	工により、事 現場内利用や 最適なルート	事業期間 一	を延伸する。 共事 中項目 (a) b 中項目 中項目	大項目が一個
)コスト縮減替案等の可能性		用地補切土工業との土利便性いるため	(賞の) ・盛: 砂流/ 、 計i	遅延に加え 土工の施コ 用の調整を 済性、施コ	えて、トン ² にあたっ ⁻ を図る。 「性を総合的 も	ては発生土の 的に勘案し、 が妥当と考え	エにより、事 現場内利用や 最適なルート る。	事業期間 か他の公 ・を選定	を延伸する。 共事 中項目 (a) b 中項目 中項目 に対する	大項目が一個
)コスト縮減替案等の可能性	代 替 案	・用地補切士工業との土利便性いるため・施工中	償の ・砂流 ・経済 ・ の濁	遅延に加え 土工の施コ 用の調整を 済性、施コ 済性がおりが	えて、トンコーにあたって を図る。 に性を総合的 達めることの	では発生土の内に勘案し、が妥当と考え	エにより、事 現場内利用や 最適なルート る。 一や沈砂池等	が が他の公 ・を選定	を延伸する。 共事 中項目 (a) b 中項目 中項目 に対する	大項目が一個
)コスト縮減替案等の可能性		・用地補切士工業との土利便性いるため・施工中	償の ・砂流 ・経済 ・ の濁	遅延に加え 土工の施コ 用の調整を 済性、施コ 済性がおりが	えて、トンコーにあたって を図る。 に性を総合的 達めることの	ては発生土の 的に勘案し、 が妥当と考え	エにより、事 現場内利用や 最適なルート る。 一や沈砂池等	が が他の公 ・を選定	を延伸する。 共事 中項目 (a) b 中項目 中項目 に対する	大項目が一個
)コスト縮減替案等の可能	代 替 案	・用地補切士工業との土利便性いるため・施工中	償の ・砂流 ・経済 ・ の濁	遅延に加え 土工の施コ 用の調整を 済性、施コ 済性がおりが	えて、トンコーにあたって を図る。 に性を総合的 達めることの	では発生土の内に勘案し、が妥当と考え	エにより、事 現場内利用や 最適なルート る。 一や沈砂池等	が が他の公 ・を選定	を延伸する。 共事 中項目 (a) b 中項目 中項目 に対する	大項目が一個
)コスト縮減替案等の可能性	代替案配慮事項	・用地補切士工業との土利便性いるため・施工中	(償の) ・盛: 砂流 (経) 、計i の動対i	遅延に加え 土工の施コ 用の調整を 済性、施コ 済性よおり返 水気とし、	えて、トンコー にあたって を図る。 に性を総合に 生めることが して、騒音、(ては発生土の 的に勘案し、 が妥当と考え 処理フィルタ 选振動型の機	エにより、事 現場内利用や 最適なルート る。 一や沈砂した	が が他の公 ・を選定	を延伸する。 共事 中項目 (a) b 中項目 中項目 に対する	大項目が一個
)コスト縮減 3環境 (替案等の可能性	代 替 案	・用地補切士工業との土利便性いるため・施工中	償の ・砂流 ・経済 ・ の濁	遅延に加え 土工の施コ 用の調整を 済性、施コ 済性よおり返 水気とし、	えて、トンコー にあたって を図る。 に性を総合に 生めることが して、騒音、(では発生土の内に勘案し、が妥当と考え	エにより、事 現場内利用や 最適なルート る。 一や沈砂池等	が が他の公 ・を選定	を延伸する。 共事 中項目 (a) b 中項目 中項目 に対する	大項目が一個
)コスト縮減 3環境 (事替案等の可能性	代替案配慮事項	・用地補切士工業との土利便性いるため・施工中	(償の) ・盛: 砂流 (経) 、計i の動対i	遅延に加え 土工の施コ 用の調整を 済性、施コ 済性よおり返 水気とし、	えて、トンコー にあたって を図る。 に性を総合に 生めることが して、騒音、(ては発生土の 的に勘案し、 が妥当と考え 処理フィルタ 选振動型の機	エにより、事 現場内利用や 最適なルート る。 一や沈砂した	が が他の公 ・を選定	を延伸する。 共事 中項目 (a) b 中項目 中項目 に対する	大項目が一個
; ;)コスト縮減 3環境 (事替案等の可能性	代替案配慮事項	・用地補切士工業との土利便性いるため・施工中	(償の) ・盛: 砂流 (経) 、計i の動対i	遅延に加え 土工の施コ 用の調整を 済性、施コ 済性よおり返 水気とし、	えて、トンコー にあたって を図る。 に性を総合に 生めることが して、騒音、(ては発生土の 的に勘案し、 が妥当と考え 処理フィルタ 选振動型の機	エにより、事 現場内利用や 最適なルート る。 一や沈砂した	が が他の公 ・を選定	を延伸する。 共事 中項目 (a) b 中項目 中項目 に対する	大項目が一個
; ;)コスト縮減 3環境 (事業実替案等の可能性	代替案配慮事項	・用地補 切土のの 利のの 利のを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	賞・砂 、、 の動 継紙	選延に加え 選延に加え 土工の調整を 土工の調整を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	えて、トンコー にあたって を図る。 に性をることが の に の の 見 の の の の の の の の の の の の の の の	ては発生土の 的に勘案し、 が妥当と考え 処理フィルタ 选振動型の機	エにより、事現場内利用や 最適なルート る。 ーやで使用した 〇 中止	事業期間 か他の公 ・を選定 を設置	を延伸する。 共事 中項目 の は 中項目 の は 中項目 の は する。	大項目が一個
; ;)コスト縮減 3環境 (事業実施替案等の可能性	代替案配慮事項総合評価	・用地補 切土のの 利のの 利のを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	賞・砂 、、 の動 継紙	選延に加え 選延に加え 土工の調整を 土工の調整を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	えて、トンコー にあたって を図る。 に性をることが の に の の 見 の の の の の の の の の の の の の の の	では発生土のかに勘案し、が妥当と考えい理フィルタ医振動型の機に直し継続	エにより、事現場内利用や 最適なルート る。 ーやで使用した 〇 中止	事業期間 か他の公 ・を選定 を設置	を延伸する。 共事 中項目 の は 中項目 の は 中項目 の は する。	大項目が一個
; ;)コスト縮減 3環境 (事業実施替案等の可能性	代替案配慮事項総合評価	・用地補 切土のの 利のの 利のを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	賞・砂 、、 の動 継紙	選延に加え 選延に加え 土工の調整を 土工の調整を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	えて、トンコー にあたって を図る。 に性をることが の に の の 見 の の の の の の の の の の の の の の の	では発生土のかに勘案し、が妥当と考えい理フィルタ医振動型の機に直し継続	エにより、事現場内利用や 最適なルート る。 ーやで使用した 〇 中止	事業期間 か他の公 ・を選定 を設置	を延伸する。 共事 中項目 の は 中項目 の は 中項目 の は する。	大項目が一個
4対応方)コスト縮減 3環境 (事業実施主体替案等の可能性	代替案配慮事項総合評価	・用地補 切土のの 利のの 利のを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	賞・砂 、、 の動 継紙	選延に加え 選延に加え 土工の調整を 土工の調整を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	えて、トンコー にあたって を図る。 に性をることが の に の の 見 の の の の の の の の の の の の の の の	では発生土のかに勘案し、が妥当と考えい理フィルタ医振動型の機に直し継続	エにより、事現場内利用や 最適なルート る。 ーやで使用した 〇 中止	事業期間 か他の公 ・を選定 を設置	を延伸する。 共事 中項目 の は 中項目 の は 中項目 の は する。	大項目が一個
; ;)コスト縮減 3環境 (事業実施替案等の可能性	代替案配慮事項総合評価理由	・用地補 切土のの 利のの 利のを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	賞・砂 、、 の動 継紙	選延に加え 選延に加え 土工の調整を 土工の調整を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	えて、トンコー にあたって を図る。 に性をることが の に の の 見 の の の の の の の の の の の の の の の	では発生土のかに勘案し、が妥当と考えい理フィルタ医振動型の機に直し継続	エにより、事現場内利用や 最適なルート る。 ーやで使用した 〇 中止	事業期間 か他の公 ・を選定 を設置	を延伸する。 共事 中項目 の は 中項目 の は 中項目 の は する。	大項目が一個
4対応方)コスト縮減 3環境 (事業実施主体替案等の可能性	代替案配慮事項総合評価	・用地補 切土のの 利のの 利のを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	賞・砂 、、 の動 継紙	選延に加え 選延に加え 土工の調整を 土工の調整を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	えて、トンコー にあたって を図る。 に性をることが の に の の 見 の の の の の の の の の の の の の の の	では発生土のかに勘案し、が妥当と考えい理フィルタ医振動型の機に直し継続	エにより、事現場内利用や 最適なルート る。 ーやで使用した 〇 中止	事業期間 か他の公 ・を選定 を設置	を延伸する。 共事 中項目 の は 中項目 の は 中項目 の は する。	大項目が一個

柳井上関線 主要地方道 道路改築事業



※この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。

